



図書室だより

開成町民センター図書室のスタッフが、おすすめの本やイベントなどの最新情報を紹介します！ぜひ、お越しください。お待ちしております♪

イベント&お知らせ



「子どもの広場」を開催！ ～ペロペロおばけをつくろう～

日時：10月7日(土) 10時～11時30分
場所：町民センター3階 大会議室
内容：10時～ おはなし会
10時30分～工作

かわいいおばけが
キャンディをペロペロするよ♪
参加される方は、当日図書室までお越しください(予約不要)。誰でも参加できます!!



毎月開催!! 「おはなし会」

9月のテーマは「月」
日時：9月13日(水)
14時～14時30分
場所：キッズライブラリー



小さなお子さん大歓迎! ぜひお越しください。

開成町民センター図書室情報

電話▶☎20-4742
開室時間▶火～金曜日：9時30分～20時30分
土・日・祝日：9時30分～17時
休室日▶毎週月曜日、9月9日(土)
貸出冊数は一人6冊までです。貸出期限は2週間です。

図書室が毎月発行している「あじさいつうしん」と▶
「新しく入った本のリスト」はこちらから!
ぜひ、ご覧ください。



おすすめ本

季節をめぐる星座のものがたり 秋 みずがめ座

ながたみえ 永田 美絵 監修
出版：汐文社



9月といえばお月見。夜空を見上げることも多くなるのではないのでしょうか。
この本は、ギリシャ神話をはじめとする世界の「星座にまつわる物語」を紹介する読み物シリーズ。春夏秋冬全4巻です。星座の名前・形・見え方などの基本情報も加え、プラネタリウムを訪れたかのように、星空と神話のロマンあふれる世界にひたれます。この本を読んだら、今まで点だった星が結び合い、すてきなものがたりが夜空に浮かび上がります。それぞれの季節に星座のものがたりを感じてみては。

サポセンNEWS

町民センター2階「開成町民活動サポートセンター」(通称、サポセン)に利用登録をしている団体の活動を紹介します。

企画政策課 ☎84-0312

あしがらNIHONGO 会員募集中!

活動内容：外国語を母語とする人たちが日本社会で自立した生活ができるように、日本語学習の支援を行っています。

活動場所：町民活動サポートセンター会議室

活動日時：毎週木曜日 9:30～11:00

活動PR：外国の人達に日本語を教えてくださいませんか? 外国語のスキルは必要ありません。色々な文化の違いが学べます。

がいこくじんのみなさんも どうぞ きてください。

問合せ：ayako-ayk@ymail.ne.jp
中村綾子

あしがらNIHONGO facebook▶



あしがら NIHONGO は、P2でも紹介しています。

サポセンからのお知らせ

サポセンで地域活動への参加のきっかけづくりをしてみませんか。ちょっとした打ち合わせやミーティング、事務作業や学習にも利用できます。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

サポセン利用登録はこちらから▶

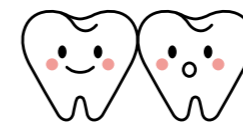


遊びから習慣へ

はじめは、ベビー歯ブラシを使うといいでしょう。お子さんにとって、口の中に歯ブラシを入れる習慣の第一歩になります。まずは、歯ブラシを口の中でガジガジして「おもしろい」ということを体感し、歯みがきが楽しい習慣になるようにしてあげましょう。



柄の両脇に取っ手がついているものや、柄が輪っかになっているものがおすすめです!



歯みがきをふれあいの時間に

お子さんが小さいうちはできるだけ一緒に歯みがきをしたり、歯みがきの真似をしたりしてお手本を見せてあげましょう。また、歯みがきをしているときに、優しく話しかけたり、歌を歌ったりしながら笑顔でみがいてあげましょう。

歯みがきを通じて
親子のふれあい時間を増やそう



子育てナビ

成長に合わせた歯みがきをしましょう

問 子育て健康課 ☎84-0327

新生児～首が座るころまで

歯が生えていない時期は、お口のケアは特に必要ありません。しかし、お子さんの口元の感覚や皮ふはデリケートで、歯が生えてから急に歯みがきを始めると、嫌がられるかもしれません。首が座ったころから、唇の周りに濡れガーゼやウェットティッシュなどを優しく当てて、ミルクなどの汚れを拭き取りながら、スキンシップとして歯みがきの予行練習をしていきましょう。

生後6か月前後 (歯が生え始めたら)

下の前歯から乳歯が生え始めます。生えたとの歯は、まだ表面のエナメル質が十分に完成されていないので汚れがつきやすいです。この時期は、いろいろなものをしゃぶり、口にしているので、保護者の手による歯みがきを始めましょう。



元気だより

問 酒田みずのべ保育園 ☎85-0305



▲いっしょにあそぼう!



▲靴下ちゃんと脱げるかな?

「小さな芽」
酒田みずのべ保育園 保育士 榎田 里美
てんとつむしクラス(0・1歳児)の朝。
ある子が、紙パンツの詰まったぞうさんバッグを手に登園します。お部屋に入ると、自分で靴下を脱ぎ、自分のマークのついたケースにしまってから、好きな遊びを始めます。毎日同じ朝の流れを繰り返す中で、この子が「自分でやってみよう」と感じ、身につけたことです。
子どもたちの小さな心の動きを見逃さないようにしたいと思っていました。昨日は泣いてしまっていたり、興味を持ってしなかつたりしたことが、今日は違うかもしれません。泣くのをやめて面白そうなおもちゃを探そうとしていたり、お友だちの顔をのぞきこんで関わろうとしていたり、主体性の芽がこちらで見られています。
そのような芽を優しく見守り、励まし、少しお手伝いしてあげながら、大切に育んでいきたいと思っています。

「元気だより」では、町の子どもの様子を学校・保育園等の現場からお届けします。